

渋江川流域の大型土壌動物の若干

布村 昇<sup>1)</sup>・平内好子<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>富山市科学博物館・<sup>2)</sup>魚津市大海寺新

Some macro soil animals from Shibuegawa River, Toyama Prefecture, central Japan

Noboru Nunomura : Toyama Science Museum  
Yoshiko Hirauchi : Daikaiji-shin,Uozu-shi

渋江川調査の一環として河川内と土手に生息する陸産甲殻類の目撃採りとリターがある場合、シフティングにより調査を行った。

また、渋江川流域の小白山で土壌動物を調査し、目撃採り及びツルグレン装置により抽出した等脚目甲殻類、倍脚類、貝類調査結果を報告する。

調査日程と調査場所

(すべて平成22年)

- 3月8日 渋江川人母橋一竹屋橋間 (布村)
- 6月19日 小白山 (平内)、渋江川上御亭橋一瑞穂橋間 (布村)
- 8月31日 渋江川矢長橋一島分橋間 (布村)

調査結果

渋江川の土手からは陸産甲殻類は等脚目種2種の生息が確認されたのみであった。河川内と土手の部分は狭く、かつ上流部を除いて森林と接続しておらず、ニホンヒメフナムシも少なく、セグロコシビロダンゴムシはまったく確認されなかった。全体に比較的乾燥した環境を好み人為の影響をうかがわせるオカダンゴムシが多かった。

小白山 (標高120.9m) には、ブナーウラジロガシ林のほか、一部にはモウソウチクのタケ林も分布し、湿潤な多様な環境があり、3種が確認された。軟体動物やヤスデも良好な状況での低山を指標する種と考えられる。

節足動物 Arthropoda  
甲殻亜門 Crustacea  
等脚目 Isopoda

ニホンヒメフナムシ *Ligidium (Nipponoligidium) japonicum* Verhoeff

〔渋江川〕 1頭、平田橋、6月19日  
〔小白山〕 1♂2♀ウラジロガシ域；1♂3♀タケ林

ナガワラジムシ *Haploptalmus danicus* Buddee-Lund  
〔小白山〕 1♂5♀タケ林

セグロコシビロダンゴムシ *Spherillo dorsalis* (Iwamoto)

〔小白山〕 1♂4♀ブナ域、1♂6♀タケ林

オカダンゴムシ *Armadillidium vulgare* (Latreille)

〔渋江川〕 1頭、白谷大橋、3月8日、布村昇；  
1頭、平田橋、6月19日；1頭、羽根橋、8月31日

多足亜門 Myriapoda  
ヤスデ綱 Diplopoda

オビヤスデ目 Polydesmida

オビババヤスデ *Parafontaria laminata* (Attens)

〔小白山〕 3♂、3♀ブナーウラジロガシ林、タケ林

タマヤスデ目 Glomerida

ヤマトタマヤスデ *Hyleoglomeris japonica* Verhoeff

〔小白山〕 1個体 ブナ域

軟体動物 Mollusca

腹足綱 Gastropoda

原始紐舌目 Archjtaeniglossa

ミジンヤマタニシ *Nakadaella micron* (Pilsbry)

〔小白山〕 8個体 タケ林

ヒタリマキゴマガイ *Palaina pusilla pusilla* Martens

〔小白山〕 1個体 タケ林

文献

布村昇, 2008. 魚津市角川流域の若干の無脊椎動物. 富山の生物47: 63-64.

布村昇, 2009. 氷見市余川流域の陸産フクロエビ甲殻類. 富山の生物48: 29-30.

布村昇, 2010. 栃津川流域の陸産甲殻類. 富山の生物49: 23-24.

渋江川の底生無脊椎動物 (昆虫を除く)

布村 昇

富山市科学博物館 〒939-8084 富山県富山市西中野町1-8-31

Macro-invertebrate animals from Shibuegawa River, Toyama Prefecture, central Japan

Noboru Nunomura

Toyama Science Museum, 1-8-31, Nishinakano-machi, Toyama-shi, Toyama 939-9084, Japan

On macro-invertebrate animals from Shibue-gawa, Tateyama machi, Toyama was surveyed. As the results, seventeen species were enumerated. The dominant sepsis were *Semisulcospira bensoni* and *Erpobdella lineata*. *Esopgammurus hokuikuensis japonica* and *Gnorimosphaeroma hokurikuensis* were also distributed.

渋江川は富山県の西部を南から北に流れ、山地から農村部をぬけ、小矢部川に合流し、最終的には高岡市で富山湾に注ぐ。調査は各調査地点15分から20分程度、主としてタモ網を用いて、転石下や水草、ゴミなども調査した。

但し、人母橋より上流は川まで降りることが出来ず、調査を行うことが出来なかった。

調査日程

(全て平成22年)

- 3月8日 (布村) 人母橋一竹屋橋間
- 6月19日 (布村) 上御亭橋一瑞穂橋間
- 8月31日 (布村) 主に矢長橋一島分橋 (小矢部川合流点) 間

調査結果

10種の水生無脊椎動物を確認した。これを昨年の立山町栃津川、一昨年の氷見市の余川、19年の魚津市角川と比べると、各河川に共通で、カワニナが多かったが、これは富山県内の中小河川に共通である (布村, 1998, 2002, 2009ほか)

特筆すべき種はことは甲殻類でミズムシが少なく、ホクリクヨコエビやホクリクコツブムシが多く確認されたことであろう。

さらに微小なコロニーながらアナンデルカイメ

ンが確認された。本種は川崎医科大学の益田芳樹氏同定による。

これを昨年の立山町の栃津川、一昨年の氷見市の余川、三年前の魚津市の角川と比べるとヒル、甲殻類、貝類ともに最も多い。

	渋江川	栃津川	角川	余川
海綿動物	1	0	0	0
刺胞動物	0	0	0	1
扁形動物	0	0	1	1
貧毛類	1	1	1	0
ヒル類	5	2	3	3
マキガイ	5	4	2	3
二枚貝	1	0	1	0
甲殻類	4	3	2	8
合計種数	17	10	10	16
純淡水種	16	9	9	16

リスト

全て2010年で特に断らないものは全て布村昇の採集による。

海綿動物 Porifera  
アナンデルカイメン *Radiospongia cerebellata* (Bowerbank, 1863)  
1塊島分橋上、8月31日 (益田芳樹氏同定)

環形動物 Annelida  
貧毛綱 Oligochaeta  
ナガミミズ目 Haplotaxida  
フトミミズ科 Megascolecidae  
\*フトミミズ科の1種 Megascolecidae sp.  
1頭、人母橋、3月8日

ヒル綱 Hirudinea  
吻蛭目 (ウオビ目) Rhynchobdellida  
グロシフォニ科 Glossiphoniidae  
ハバヒロビ目 *Glossiphonia weberi lata* Oka  
1頭平田橋、6月19日；1頭、砂田橋、8月31日；1頭、羽根橋、8月31日、5頭、濃川濃川橋、6月19日  
ヒラタビ目 *Glossiphonia complanta* (Linnaeus)  
1頭、渋江川橋、8月31日；1頭、岡田橋、8月31日

咽蛭目 (イシビ目) Pharyngobdella  
イシビ科 Erpobdellidae  
シマイシビ目 *Erpobdella lineata* (O.F.Müller)  
4頭、羽根橋、8月31日；1頭、渋江川橋、8月31日；1頭、岡田橋、8月31日；1頭、綾子大橋、8月31日；3頭、島分橋上、8月31日；6頭、濃川濃川橋、6月19日  
ナミイシビ目 *Erpobdella octoculata*  
1頭、羽根橋、8月31日  
イシビ科の1種 Erpobdellidae sp. (赤色)  
1頭、島分橋上、8月31日

軟体動物 Mollusca  
腹足綱 Gastropoda

新紐舌目 Neotaneioglossa

タニシ科 Vivipariidae  
オオタニシ *Cipangopaludina japonica* (v. Martens)  
6頭、瑞穂橋、6月19日  
他にも上御亭橋の上流に注ぐ支流からも確認されている。

カワニナ科 Pleuroceridae  
カワニナ *Semisulcospira bensoni libertina* (Gould)  
2頭、人母橋、3月8日；1頭、臼谷大橋、3月8日；1頭、竹屋橋、3月8日；10頭、平田橋、6月19日；1頭、砂田橋、8月31日；4頭、矢長橋、8月31日；6頭、渋江川橋、8月31日；3頭、岡田橋、8月31日

ミヅツボ科 Hydrobiidae  
コモチカワツボ *Potamopyrgus antipodarum* (Gray)  
2頭、竹屋橋、3月8日；11頭、下御亭橋、6月19日；4頭、平田橋、6月19日；1頭、綾子大橋、8月31日

基眼目 Bassomatophora  
モノアラガイ科 Lymnaeidae  
ヒメモノアラガイ *Austropeplea ollula* (Gould)  
1頭、瑞穂橋、6月19日；1頭、渋江川橋、8月31日

サカマキガイ科 Physidae  
サカマキガイ *Physa acuta* Draparnaud  
1頭、臼谷大橋、3月8日；1頭、上御亭橋、6月19日；8頭、下御亭橋、6月19日；3頭、平田橋、6月19日；2頭、渋江川橋、8月31日

二枚貝綱 Bivalvia  
マルスダレガイ目 Veneoidea  
シジミ科 Corbiculidae  
タイワンシジミ *Corbicula fluminea* f. *fulminea* (Muller)

1頭 (殻のみ)、矢長橋、8月31日；1頭 (殻のみ) 濃川濃川橋、6月19日

節足動物 Arthropoda  
甲殻綱 Crustacea  
等脚目 Isopoda  
コツブムシ科 Sphaeromatidae  
ホクリクコツブムシ *Gnorimosphaeroma hokurikuense* Nunomura  
1頭、岡田橋、8月31日；8頭、綾子大橋、8月31日；4頭、島分橋上、8月31日

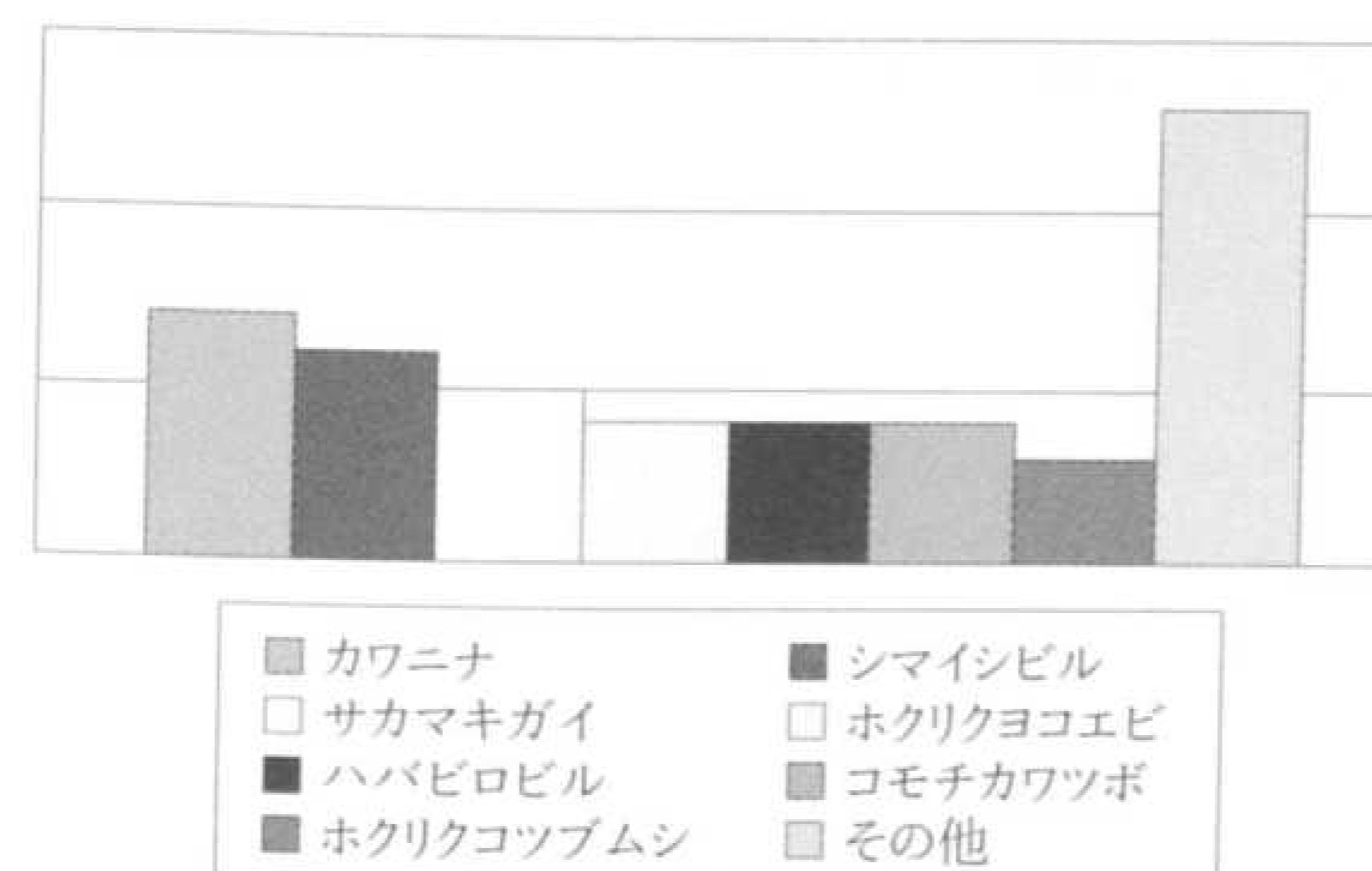
ミズムシ科 Asellidae  
ミズムシ *Asellus hilgendorfi* Bovalius  
1頭、平田橋、6月19日

端脚目 (ヨコエビ目) Amphipoda  
ヨコエビ科 Anisogammaridae  
ホクリクヨコエビ *Jespgammarus hokuikuensis japonica* Morino  
3頭、人母橋、3月8日；4頭、臼谷大橋、3月8日；8頭、竹屋橋、3月8日；1頭、平田橋、6月19日

十脚目 (エビ目) Decapoda  
ヌマエビ科 Atyidae  
ヌマエビ *Paratya compressa* (de Haan)  
2頭、羽根橋、8月31日；2頭、綾子大橋、8月31日

なお、同時に土手の陸産等脚類を調査したが、今回は2種の確認にとどまった。

確認地点別上位種



ニホンヒメフナムシ *Ligidium (Nipponoligidium) japonicum* Verhoeff  
1頭、平田橋、6月19日、布村昇  
オカダンゴムシ *Armadillidium vulgare* (Latreille)  
1頭、臼谷大橋、3月8日、布村昇；1頭、平田橋、6月19日、布村昇；1頭、羽根橋、8月31日、布村昇

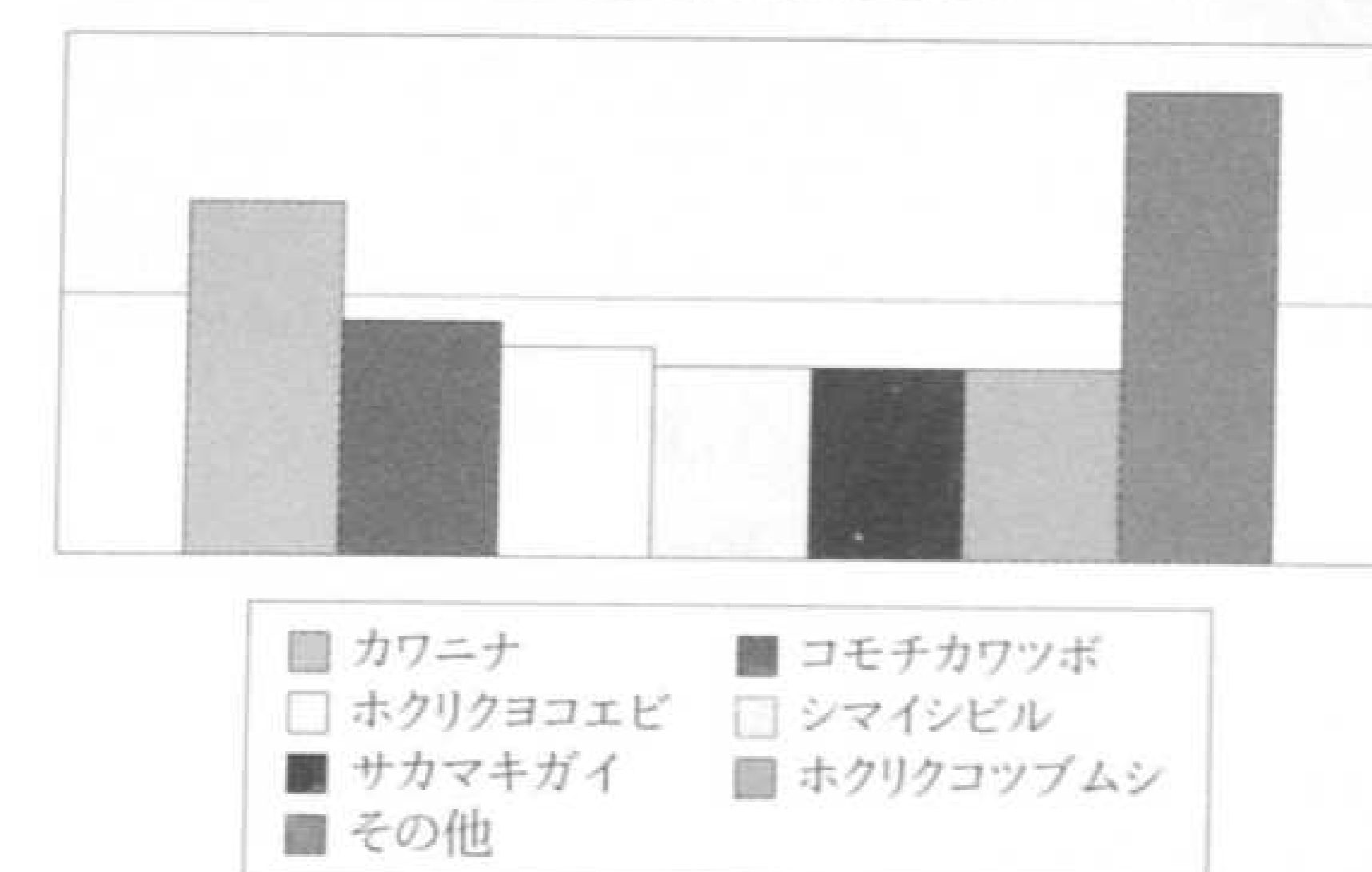
謝辞

標本を見せていただいた福田保氏、南部久男氏ほかの会員諸氏に御礼申し上げます。

文献

- 富山県 (1999) 富山県の水生生物
- 布村昇 (1998) いたち川の無脊椎動物. いたち川自然環境報告 (1995-97). 富山市科学文化センター.
- 布村昇 (2002) 底生無脊椎動物 in 庄川水系合口ダム流域調査. 富山県砺波農地林務事務所.
- 布村昇 (2009) 底生無脊椎動物 in 小矢部川水系合口ダム流域調査. 富山県高岡農地林務事務所.
- 富山県動物生態研究会 (1995) 富山県の淡水貝類 in 富山県の水生生物. 16-70.
- 富山工事事務所 (1994) 平成6年度渋江川河川水辺の国勢調査魚介類調査業務委託. 中間報告書.
- 平成11年度小矢部川水系 (小矢部川) 魚介類調査報告書.
- 平成11年度小矢部川水系 (小矢部川) 底生動物魚介類調査報告書.

確認個体数別上位種



渋江川流域総合調査

渋江川の魚類

稲村 修・不破光大・伊串祐紀・門田信幸  
魚津水族館 〒937-0857 富山県魚津市三ヶ1390

Freshwater fishes from Shibuegawa River, Toyama Prefecture, central Japan

Osamu Inamra, Mitsuhiro Fuwa, Yuki Igusi, Nobuyuki Kadota  
Uozu Aquarium, Sanga 1390, Uozu-shi, Toyama 937-0857, Japan

はじめに

渋江川は南砺市土山、小又集落南方の県境にある鑽先山(きりさきやま)(標高530m)を水源とし、南蟹谷、北蟹谷丘陵のすそ野を巡って小矢部市綾子地先で小矢部川の左岸側に合流する延長約13.5kmの河川である(小矢部市、公文書資料室だよりvol.42)。

今回、富山県生物学会による渋江川流域総合調査の一環として、2010年6月19日と9月20日の2日間にわたり魚類調査を行ったので、その結果を報告する。

調査方法

調査は投網、手ダモを用いた採集(特別採捕許可証を取得)と目視観察とした。原則として、採集した魚類の同定や個体数、全長の記録はその場で行い、写真撮影後に放流した。ただし、その場で同定が困難であったコイ科魚類の稚魚やヨシノボリ類などは、魚津水族館へ持ち帰り同定した。魚類の分類および学名は日本産魚類検索(中坊, 2000)に従った。

調査時の水温とpHは地点ごとに測定し、表1に記した。

調査地点

源流部を除く湯谷地区から下流部(綾子地区)の小矢部川合流付近までを調査地域とした。調査地点は5地点に定め、下流部を定点1、上流部を定点5とした(図1)。各調査地点の状況と出現魚類を以下に記す。尚、各地点の写真はすべて橋から上流に向かって撮影した。

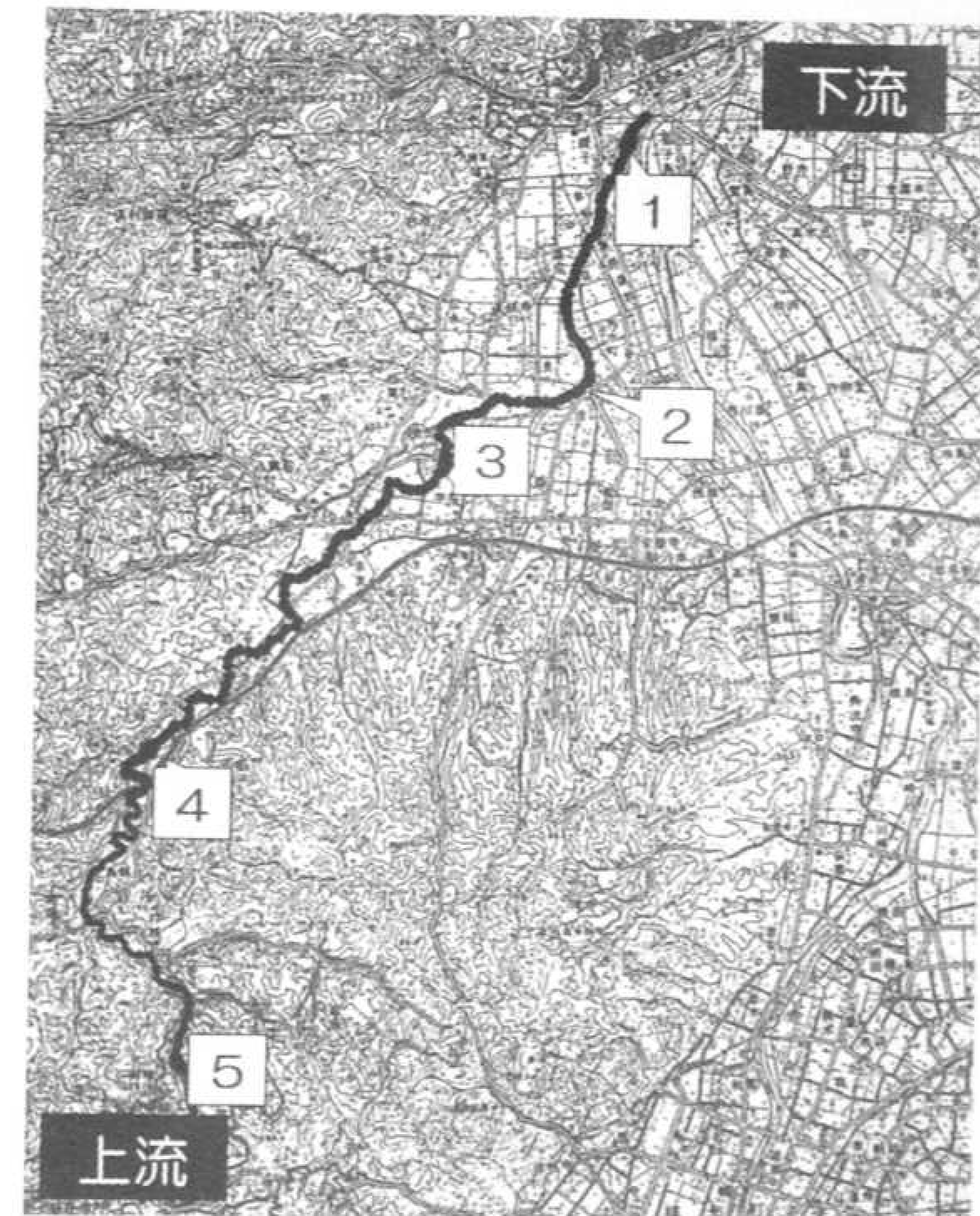


図1 渋江川調査地点図

	アンナンデルカイメン	フトミミズ類	ヒラタビル	ハバヒロビル	イシビル科の一種	ナミイシビル	シマイシビル	オオタニシ	コモチカワツボ	カワニナ	ヒメモノアラガイ	サカマキガイ	タイワンシジミ	ホクリクコップムシ	ミズムシ	ホクリクヨコエビ	ヌマエビ
人母橋		1								2						3	
砂田橋				1						1							
白谷大橋												1				4	
竹屋橋									2	1						8	
上御亭橋												1					
下御亭橋									11			8					
膿川膿川橋				5			6						1				
平田橋				1					4	10		3			8	1	
瑞穂橋								6			1						
竹倉橋																	
矢長橋										4			1				
羽根橋				1		1	4										2
渋江川橋				1			1			6	1	2					
岡田橋				1			1			3				1			
綾子大橋							1		1					11			2
島分橋上	1				1		3							3			
出現地点数	1	1	2	4	1	1	6	1	4	7	2	5	2	3	1	4	2
出現割合(%)	6	6	13	25	6	6	38	6	25	44	13	31	13	19	6	25	13
確認個体数	1	1	2	8	1	1	15	6	18	27	2	15	2	15	8	16	4